

平野区
地域情報

にんにゃかひらの

※「にんにゃか」とはこの
地域の方で「にぎや
か」という意味です。

第1弾

平野区誌～平野区の歴史・魅力を知ろう～

平野区は、大阪の中でも最古の歴史を誇り、歴史的な遺跡や建物が多く遺されています。「平野区の歴史」の魅力と、
これからの活かし方について、平野区の歴史に詳しい^{こむらのりお}小村典央先生と、藤井区長の対談によりお届けします。

藤井区長(以下 藤)

平野区は歴史があってすごい町なのですが、古くから住み続けて生き字引のような方もあれば、転入してまだあまりご存知ない方もおられると思うのですが、小村先生は、平野区に住み続けてこられてどう感じられますか？

小村先生(以下 小)

おっしゃるとおり、確かに生き字引のような方はおられますが、平野区全般を知る方は少ないのかなぁと思います。たとえば「加美」「平野」「喜連」「瓜破」「長吉」というそれぞれの地域の歴史を知る方は多いんですがトータルな資料がなくて…。

そんな中で区制30周年を前に『平野区誌』を作ろう!という話になり私もお手伝いさせてもらうことになったんです。

今も「区誌連続講座」などには、かなりたくさんの方が来られますよね。生涯学習講座での「まち歩き」にも区内外からたくさんの方が参加され「今までこんなこと

知らなかった。」という声もありますね。「平野区の歴史についてなら『平野区誌』を読んでください!」といたいんですが、さすがに量が多くて内容が難しいんですね。



平野区は遺跡もたくさん出てるし、昔將軍がいた時期もありますし、江戸時代なんかは平野郷は河内木綿で栄えてましたしね。こんな秘められた歴史みたいなのがあったりして、見ていけば見ていくほど面白い区ではあると思います。だからこそ、どないかして伝えられへんかつ

て言うのが、僕の今の課題ではあるんですけどね…。

藤 今「平野区うお〜くらり〜」のマップを作成したり、専門的なんですけど「区誌連続講座」があったりしますが、小さな子どもさんも含めて平野区の歴史を知ってもらおうと思うと、どんなことをしていっていいと思われませんか？

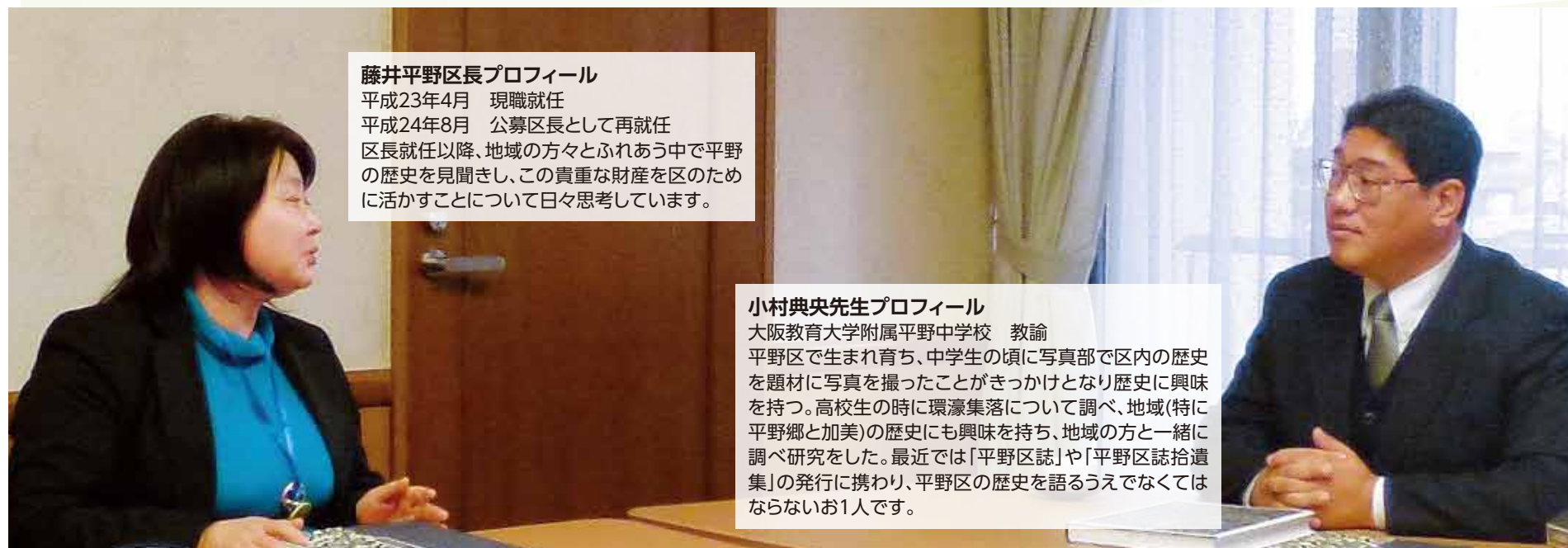
小 例えば、平野区民ホールで夏休みに「『平野かるた』を作ろう」という講座をしています。子どもたちが「まち歩き」をしながら、興味を持った場所の写真を撮って、その写真をもとにかるたの絵札を描き、五七五の読み札の文章を考えてかるたを作るんです。小学生に「平野区は古い歴史があって…」と言ってもわかりづらいと思うんですよね。それよりも町歩きをしながら、「あつ、こんなところあるんや!」「お地蔵さん、たくさんあるんは何でやる?」「こんなところに道しるべ(道標)がある! 何で?」こんな風に不思議に思う

ことや気づきが大切で、そこからスタートやと思うんです。学校では難しいと思うんですけども、普段の生活の中でそういうことに気づいてもらえるような環境づくりって大事なかなぁと思いますね。「教えてもらう」というより、子どもたちが自分で「これ何やろう?」と思うような仕掛けをしていくとおもしろいのかなぁ…と。



藤 たとえば、平野区クイズとか？

下段左列へ



藤井平野区長プロフィール
平成23年4月 現職就任
平成24年8月 公募区長として再就任
区長就任以降、地域の方々とふれあう中で平野の歴史を見聞きし、この貴重な財産を区のために活かすことについて日々思考しています。

小村典央先生プロフィール
大阪教育大学附属平野中学校 教諭
平野区で生まれ育ち、中学生の頃に写真部で区内の歴史を題材に写真を撮ったことがきっかけとなり歴史に興味を持つ。高校生の時に環濠集落について調べ、地域(特に平野郷と加美)の歴史にも興味を持ち、地域の方と一緒に調べ研究をした。最近では「平野区誌」や「平野区誌拾遺集」の発行に携わり、平野区の歴史を語るうえでなくてはならないお1人です。

小 「うお〜くらり〜」なんかをクイズ形式にして子どもたちが回ると興味を持ってくれると思いますね。子どもたちが歴史を知ると、「平野区ってなんかすごい歴史があるところみたいやで!」「すごいおもしろいで!」って親に話してくれるので、大人にも伝わって行きますしね。

藤 これまで培われてきた平野区の歴史…それだけでもすごいことなんですけど、これからの平野区に、その歴史をどのように活かしていけばいいと思われませんか？

小 平野区って、歴史も伝統もたくさんあるのに、それを一挙に見る場所がないんですよね。資料館とまでいなくても、ちょっとしたところでいいので、それが見れる場所があればなぁ…と思います。

それから、ウォークラリーとかをもっと活発にして、地元を歩いて知ってもらう。歴史だけでなく、たとえば、おいしいお店とか、「こんな変わったことをしているお店がありますよ」とか、そういうところを回りながら歴史的なものが随所に入ってくるみたいなものでもいいのか

なぁと思います。

区内には「古文書を読む会」や「連歌の会」「喜連村史の会」など、地域で活動している団体があります。

区役所は、このような活動をしている方たちと、平野区のことを知りたいと思っている方をつなぐ役割を担ってほしいですね。

藤 大阪文化財研究所の方に言わせても、大阪の中でも平野区の歴史はすごいものがあって、他ではなかなか出ない古い時代の発掘物が出るとか…。



長原式土器

小 そうですね。地名が付いている土器もありますからね。

「長原式土器」や「はにわ」のように区内から出土したものが教科書に載ってるってすごいことですよ。それから「畠山政長」のような教科書に出てくる歴史上の人物のお墓が区内にあったり。

小学校で地元のちょっと古い歴史を知るのが3年生くらいなんですね。そのくらいの時期に、たとえば夏休みに先生に平野区の歴史についてお話するような講座や、実際に歩いてもらうようなことをして、それを子どもたちに還元してもらいたいかなぁと思います。そのためにもう少し簡単で分かりやすい、子ども用の平野区の歴史をまとめたわかりやすいテキストを作るのもいいかもしれませんね。

藤 歴史めぐりをする中で商店街を歩いていただいたり、そういう意味での賑わいみたいなものができるようになれば…と思います。

小 そういうことがしたいと思っている人と、地元の人とのつながりを作っていく

のが区役所の役割だと思います。区役所の方の力もあるし、地元の人の力もある。みんなで協力して町を盛り上げていくっていうのが一番大事なのかなぁと思うんです。

最初に話しましたが、5つの地域が集まっている平野区ですから、その特色を活かす形でなにか町の元気をつけて行くっていうような、その中心になるのが1つは区役所だと思います。

藤 みなさんのお力をうまく組み合わせさせていただくという役割がほとんどの区役所の仕事なのかなぁと思います。なかなかそこまで到っていませんけど…。

小 そういう風な環境というかコミュニケーションしてくれて、一緒にやってくれる職員さんがいる区役所っていうのが、僕らからするとありがたいですね。

藤 是非、そうできればと思います。本日は貴重なお話ありがとうございました。